
倉庫番と死体

乙狩白

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

倉庫番と死体

【Nコード】

N7240M

【作者名】

乙狩曰

【あらすじ】

私は非合法の貸し倉庫の運営で生計を立てている。

大きいものは戦車から小さいものはウィルスまで、どんなやばい物でも預かり顧客が望む期間保管するのが私の仕事だ。

私は非合法の貸し倉庫の運営で生計を立てている。

大きいものは戦車から小さいものはウイルスまで、どんなやばい物でも預かり顧客が望む期間保管するのが私の仕事だ。

こんな仕事をしてるので、預かる品は表に出せない物も多い。

そんな非合法な品の中で年に3、4件必ず舞い込んでくるのが…死体だ。

預ける事情は色々あるだろうが、死体を埋葬せずに倉庫に預けたりする理由なんてどうせロクなものではないだろう。

今も地下の冷凍保管庫には三体の死人が眠っている。

その中の一つに、変に思われるかも知れないが私のお気に入り死体がある。

管理保全の為に月に一度は死体の様子を保管庫を開けて見るのだが、その死体はかなり可笑的い。

見るたびに姿勢が微妙に違うのだ。

最初の月に見たときには、あお向けに寝かせたはずが体の右側を下にして寝ていた。脈を確かめると間違はなく死んでいる。ここの鍵は私以外開けられないので誰か悪戯した可能性もない。

それを仰向けにもどしたのだが、次の月には今度は左を下にして寝ている。

神も仏も信じていない私だが、さすがにこれには背筋を寒くしたものだ。

さらに次の月、恐る恐る保管庫の蓋を開けてみると、今度はうつ伏せになって死んでいる。

そこでようやく気が付いた。

これは『寝返り』だ。

どうやらこの死体は自分が死んでいることに気づいていないらしく、ただ寝ているだけだと思っているらしい。なんと平和な死体だろうか。

それに気づいたとき、たまらず私は嘔き出した。

そして同時に羨ましくもなった。

浮世のつらさも先々の不安も過去の過ちも、何もかも忘れてただひたすら眠り続ける。

そんな生き様：いや、死に様を羨ましく思わない人間がいるだろうか。

できれば私も死後はこのように過ごしたいものだ。

そう願いながら毎月この寝相の悪い死体を1分ほど眺める時間がある
の中では中々のお気に入りだ。

お気に入りの割りに時間が短くないかって？

眺めすぎて起こしてしまったりしたら彼に悪いじゃないか。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7240m/>

倉庫番と死体

2010年10月21日23時45分発行